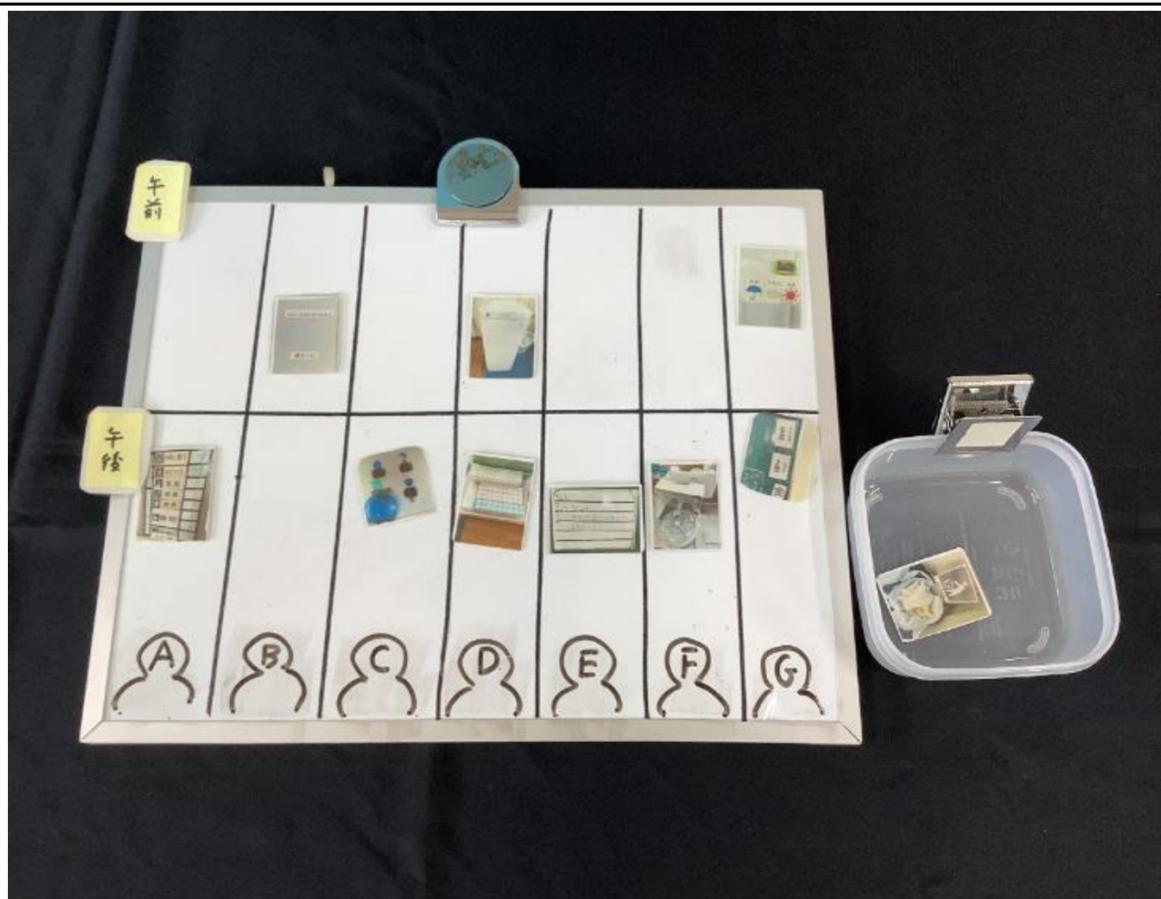


教材教具名	係活動ボード	分類	その他	
		対象授業等 (内容) (学部)	日常生活	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動に主体的に取り組む。 ・ 係活動を視覚的に整理する。 ・ 係活動の取り組み忘れを防止する。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードを見て、自分の係活動の有無を確認する。 ・ 係活動に取り組んだら、係活動の写真カードを箱に入れる。 ・ 欠席した子どもがいる場合、他の子どもに係活動を頼む場面で、欠席した子どもの係活動の写真カードを、依頼する子どもの枠に移動することで視覚的に示す。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボード、マグネット、写真カード(子ども、係活動)、箱、ラインテープ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動の有無を写真カードで示すことで視覚的にわかりやすくした。 ・ ホワイトボードとマグネットを使うことで、貼ったり、はがしたりしやすくなった。 ・ 午前、午後に分けて線を引く事や、子どもごとに枠がわかるように線を引いた。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 仕事のやり忘れがなくなった。
- ・ ホワイトボードを見ることを促すことで、子どもが気づいて係活動に取り組めた。
- ・ 欠席した子どもの係活動を誰がするか整理された。

教材教具名	ファンサうちわ ※ファンサ=ファンサービス	分類	その他	
		対象授業等 (内容) (学部)	日常生活	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども側:簡単な言葉とイラストによって、お願いされていることがわかる。 ・ 支援者側:楽しい気持ちで子どもと関わることができる。 			

教材教具の概要



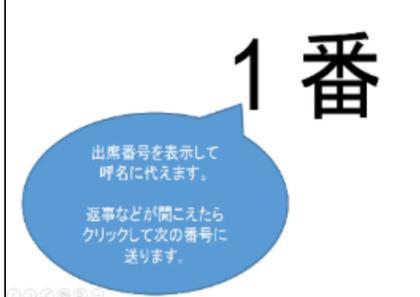
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名前を呼んでからうちわを見せる。 ・ ファンサがもらえたら喜ぶ。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ うちわ、光沢紙、両面テープ、画用紙、カードリング
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠くからでも見えるように黒いうちわに、明るい色の文字にした。 ・ わかりやすいイラストにした。 ・ 画用紙とカードリングを使い、1枚のうちわで数種類のお願いができるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ うちわを見て行動してくれた。
- ・ 遠くからでもよく見える。
- ・ ファンサがもらえたらラッキー！その通りに行動してくれなくても落ち込まない。

教材教具名	SHR(朝・帰り)進行スライド ショー	分類	その他	
		対象授業等 (内容) (学部)	朝の会	ホーム ルーム 高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話すことが難しい子どもが、自主的にホームルームの進行ができるようにする。 			

教材教具の概要

あいさつ	起立 気をつけ、礼 着席
出席確認 出席をとります	

使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ SHR(朝・帰り)時にタブレット端末に保存してあるスライドショーをテレビに接続して操作する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末、子どもが製作したスライドショー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドショー製作時から子どもが関わった。 ・ 会の進行でタッチペンを使用し、手書きで臨機応変さに対応した。(指名時など) ・ タブレット端末のカメラを利用して進行の子どものニュース発表を写すことができる。

使ってみてよかったところ、効果等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの子ども全員がショートホームルームを進行できるようになった。 ・ 呼名の際、テレビに名前が映るので呼ばれる子どもがいつもより注目する。 	

教材教具名	着替えステーション	分類	その他	
		対象授業等 (内容) (学部)	日常生活	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上衣、下衣の前後を間違えずに着る。 ・ 手元をよく見る習慣をつける。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着替えステーションを床に置く。 ・ 赤青のピースをはがし、上衣(下衣)の印とマッチングする。 ・ 上衣(下衣)を着る。
材料	・ プラスチック段ボール、フェルト生地、両面ファスナー
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤色は右、青色は左と決めたことは医療とも関連している。 ・ 手元を見るのが難しい子どもにもマッチングを加えることで認識できるようになる。 ・ 写真を縦に貼ることで間違いに気づきやすいようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 赤青を左右に分ける課題にも広げられ左右を認識する学習に繋げることができた。
- ・ 着替えステーションを始めた時に、手順書を用い丁寧に手順を習得したことで、早く着替えることができるようになった。
- ・ 着替える時の気持ちの切り替えができるようになった。